

1月23〜24日、大分県大分市で行われた九州生花商団体連合会主催の「九州生花商団体連合会 大分大会」23日には、ロンドンのフラワーアーティスト、エレコレ・モローニによるフラワーデモンストレーションが行われました。

「自分のスタイルはシンプル。花をミックスするよりも、庭で摘んだ花でブーケを作ることが好きです。アレンジをするときは花材はミックスせず、ミックスするときは同系色でまとめられています。フラワーデザインは、自分にとって終わりが無いもの。花の美しさには勝てないところがやりがいです。子供の頃からとても花が好きで、疲れていても身の回りに花があると癒されます。花の仕事は何をしても退屈せず、この仕事に就けたことはとても幸運だと思います」と話すエレコレさん。デモンストレーションの最中も、とてもユーモアのある話で、来場者を楽しませていました。

撮影/平賀 元  
主催/九州生花商団体連合会  
協力/日英フラワーアレンジメント協会

## エレコレ・モローニ ロンドンスタイルのウェディングブーケ



**右上/洗練されたカラーのブーケ**  
純白のカラーに、美しいライムグリーンのピバーナムを合わせたモダンなラウンドブーケ。ピバーナムのライムグリーンでフレッシュさを演出。洗練されたドレスに。  
花材/カラー、ピバーナム、ハラン

**左上/チューリップのティアドロップブーケ**  
真っ白なチューリップを束ねた、涙型のティアドロップブーケ。横から見ても美しく見えるように制作。エレガントなドレスに合わせて。  
花材/チューリップ

**左/ロマンティックなバラのブーケ**  
芳香を放つワインレッドのバラをダスティミラーのシルバーがかかったグリーンと合わせて、大人っぽい雰囲気。シルバーやベルベットのカラードレスに合わせて。  
花材/バラ、ダスティミラー



**エレコレ・モローニ Ercole Moroni**  
イタリア生まれ。イギリスで花を学ぶ。ロンドンの花店「McQueens」のオーナーであり、独特の色彩感覚と大胆かつ緻密なアレンジで注目される。ロンドン気鋭のアーティスト。ルイヴィトン、ブルガリなどを顧客に持ち、世界的にも有名なオスカーパニティーフェアの花装飾や、アカデミー賞の花演出も手掛ける。  
<http://www.mcqueens.co.uk>



**格調高い  
コショウランのブーケ**  
コショウランで和の雰囲気も取り入れた、格調高いキヤスケードブーケ。コショウランの間に小花を使い、ナチュラルな雰囲気も醸し出す。エレガントで洗練されたラインのドレスに。  
花材/コショウラン



**ランキュラスのナチュラルブーケ**  
グリーン系のランキュラスとラムズイヤーでまとめたナチュラルな美しさのラウンドブーケ。ラムズイヤーで柔らかさ、ランキュラスの丸みでかわいらしさを演出。  
花材/ランキュラス、ラムズイヤー

**スズランの香りのブーケ**  
清楚で可憐な雰囲気を感じさせるスズランを使ったファンタスティックなブーケ。スズランはとても良い香りがするので、香りでウェディングを思い出せるように。かわいらしいドレスに合わせて。  
花材/スズラン



1  
ロンドン春の花あしらい

花とインテリア

# Ercole Moroni Style

Ercole Moroni is the owner of the florist McQueens, a famous flower shop and school in England. His beautiful home is covered with gorgeous spring flowers. Spring flowers & interior, here's London special topic.

英国でもっとも人気のあるお花屋さんのひとつ

マクィーンズのフローリスト、エルコレ・モローニさんの自宅を訪ねました  
季節感あふれる花あしらいは春の喜びにあふれ、心地よい空間がそこに広がります  
ロンドンより総力特集！ この春まねたい花あしらいとインテリアのお手本

# エルコレ モローニ



Ercole's historical town house is late Victorian.

# Ercole Moroni Style

## ヴィクトリア後期の 歴史あるタウンハウス

玄関から最初に足を踏み入れる距離がこのリビングルーム。ふたつあるマントルピースの上にはパランスよくおかれた背の高い器と特別な花。フレンチチューリップが、この花は切った後に200mlは伸び、つばみもこのサイズになるそう。開花の様子を観賞して話すエルコレさん。「その10日間はずっとファンタスティックさ！」



ロンドンの中心より北の方角、ハイパリーにあるエルコレ・モロニーさんの家を訪ねました。エルコレさんは英国で最も注目されるお花屋さんのひとつ、マックイーンズのオーナーフロリスト。どんな花が飾られたどんな家だろうと、ワクワクして玄関のチャイムを鳴らします。

自宅は3階建てヴィクトリア後期の歴史あるタウンハウス。「ウエルカム！」と陽気な笑顔のエルコレさんが出迎えてくれました。じつはテレビの仕事が急に入ったためこの取材は予定より3日延期、ロンドンでも売れっ子のエルコレさんです。

いつもハイテンションなエルコレさんですが、自宅ではちょっと違ってやや静かな物腰。そしてクライアントの花ではなく、自分のための花はいつもと少し趣向が異なります。

「アレンジのやり過ぎは趣味ではないんだ、だからひとつの花器に1種類の花しか生けない。1番大切なことは季節の花を飾ること」とエルコレさんは語ります。

To give you the touch of spring air,  
lots of fragrant narcissuses in the living room,  
the first room you enter in the house.

よさこいとスイセン

Ercole Moroni  
Style



# The guest room called "Blue bed room".

On the mantelpiece, there are 3 arrangements of grape hyacinths in line.  
Candles are set between the flowers and will be lit at night.



## Ercole Morini Style

ブルーベッドルームと名づけられたゲストルーム。ムスカリは花がブドウのように丸いから、英語ではグレープヒアシンズと呼ばれます。エルコレさんにとってムスカリは春に欠かせない大好きな花。シンプルな花器にいとも自然に生けて並べた春色アレンジ。夜になると交互におかれたキャンドルを灯すまで、何てロマンティック。

ブルーベッドルームには青い花とキャンドル



ダイニングテーブルにはチューリップの小さい花器をいっぱい行列させて美しく！花器は竹製に黒のペイントがされたもの。ダイニングテーブルには絶対に大きな器や背の高い器はおかないそう。その理由1. 低い器だからゲストの顔がよく見える「高い器だとゲストと会話しづらいでしょ？」2. 花器たちの間にキャンドルをおく。「そうするとランチからディナーテーブルにも応用できるでしょ？」3. 場所を自在に移動できる。「小さな花器がいっぱいあるから気分転換や用途に応じて好きなところに移動できるから便利でしょ？」とエルコレさん。いづれもナルホド納得！



As an Italian, cooking is very important to Ercole.

### キッチンには香りのない花。食にもこだわるイタリア人のおきて

季節によって変えられます。

インテリアもこだわりがあります。壁のペイントはナシヨナルトラストのオリジナルコレクションより自らを選んだアンティークカラー。壁色はメインベッドルーム以外はグリーン、ブルー、パーガンディなど主張の強い色が多く、飾る花色はそれぞれの部屋の壁のカラーに合わせ、さらに

イタリア人らしく人づき合いが大好きな彼。いつも楽しくてチャイミングな人なのです。

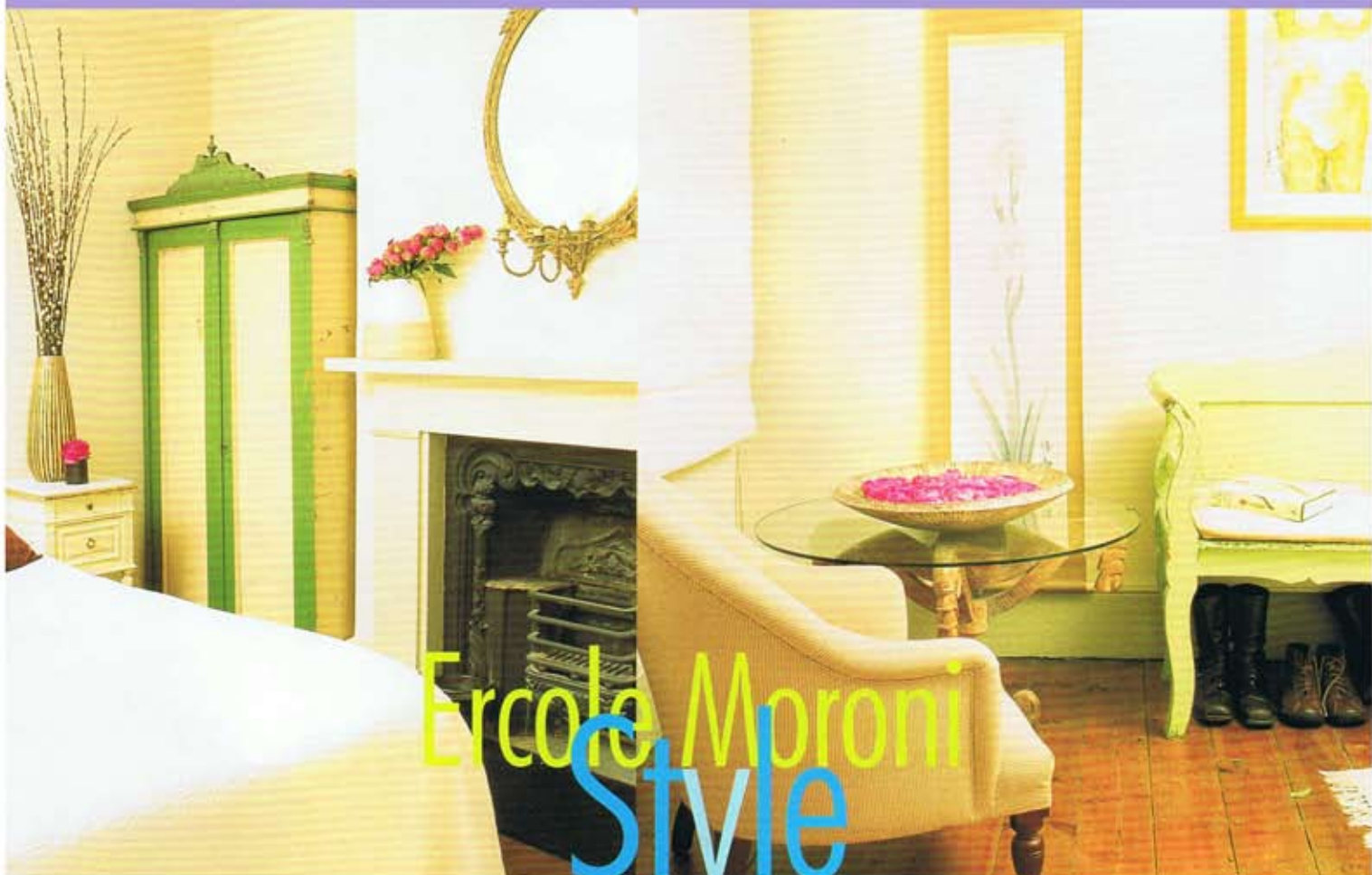
エルコレさんは花だけでなくインテリアもこだわりがあります。壁のペイントはナシヨナルトラストのオリジナルコレクションより自らを選んだアンティークカラー。壁色はメインベッドルーム以外はグリーン、ブルー、パーガンディなど主張の強い色が多く、飾る花色はそれぞれの部屋の壁のカラーに合わせ、さらに

イタリア人のエルコレさんにとってクッキングはとても大切。オリブオイル、海の塩、サンドライドトマト（もちろんいづれもイタリアもの）などの棚に並ぶ材料や大木に鉄のくさびが入ったプロ用のまな板を見てもその腕前が想像できます！

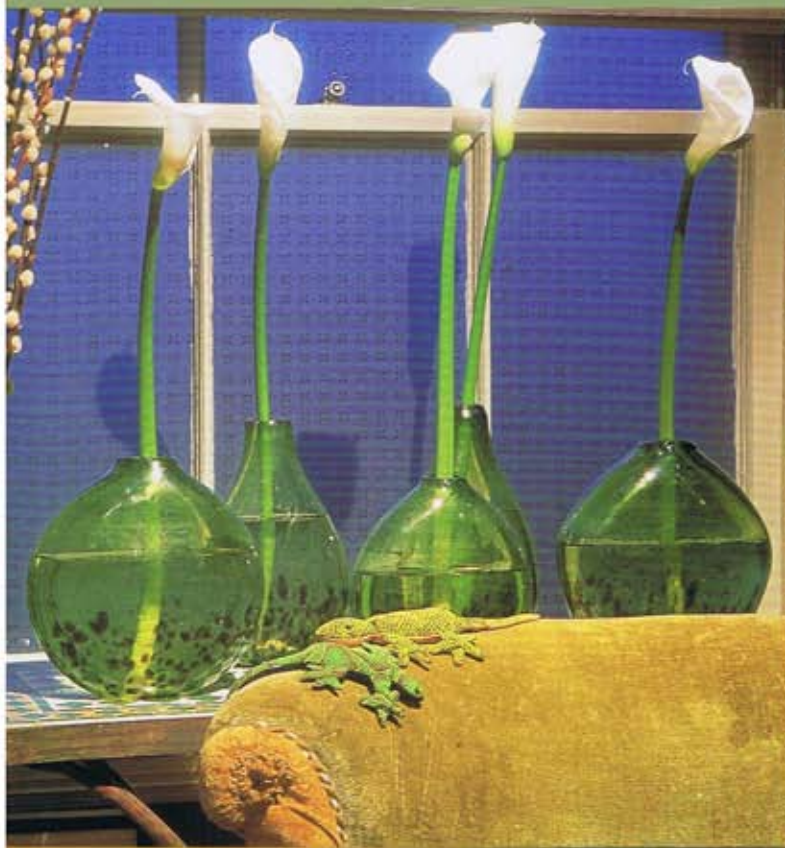
エルコレさんいわくキッチンとダイニングテーブルの花にはある決まりがあるそうです。それは香りの無い花を飾ること。料理の香りと花の香り、その選別。食にもこだわるイタリア人フロリストのおきてです。

ところでエルコレさんというところ、リビングルームに生けるスイセンの水切りをまな板の上でやるんだといっていたのに、ご近所のおば様と玄関先でおしゃべりを始めてもう10分、イタリア人らしく人づき合いが大好きな彼。いつも楽しくてチャイミングな人なのです。

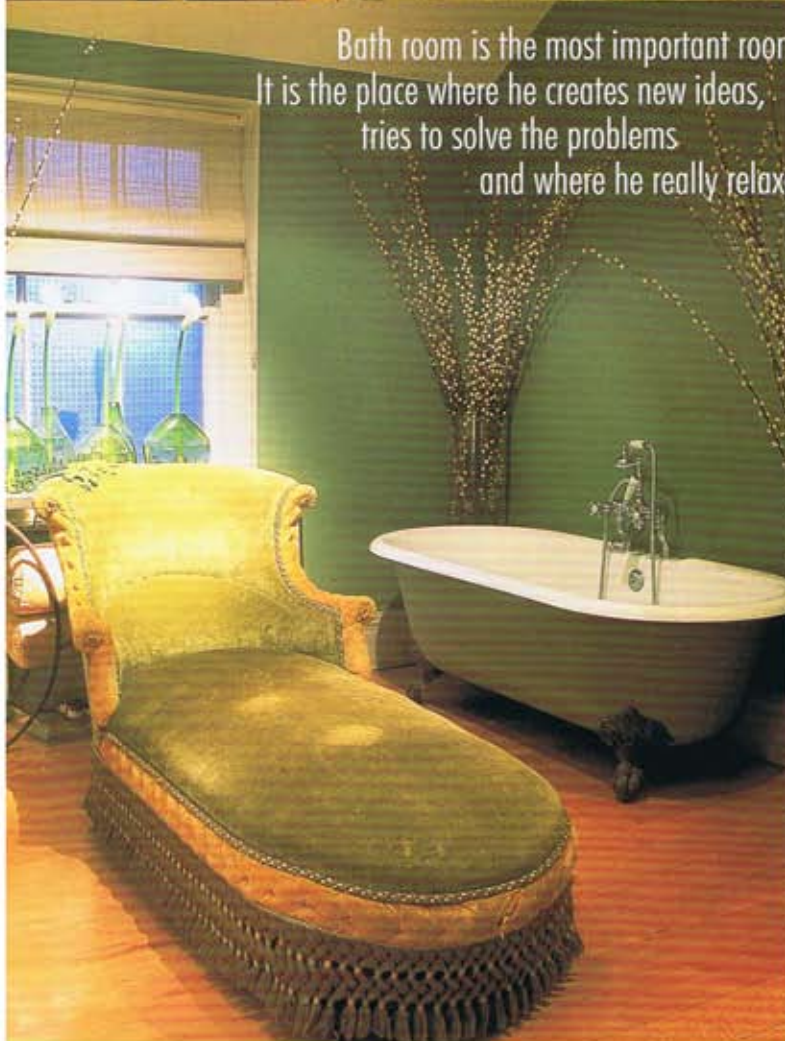




ブリア色の壁のメインベッドルームは、飾る花の色が引き立つようにと配慮され、唯一ニュートラルカラー。シャクヤクはエルコレさんがもっとも愛する花のひとつ。左上インテリアに不可欠なアンティーク家具の多くはチェルシーで求めたものでこの浮城ダンスもそのひとつ。ベッドサイドにおかれたネコヤナギは竹細工の花器に。ふもとにちょこんとおかれた花あしらいが効果的。左下/シャクヤクのまみを斜塔のように積み重ねたキッチュな一品。右上/寝室には和の空間が。掛け軸は日本を訪れたときに生徒のお父様からいただいたもの。右下/竹細工のレジン加工した大鉢にシャクヤクを浮かべて。



Bath room is the most important room to Ercole.  
It is the place where he creates new ideas,  
tries to solve the problems  
and where he really relaxes.



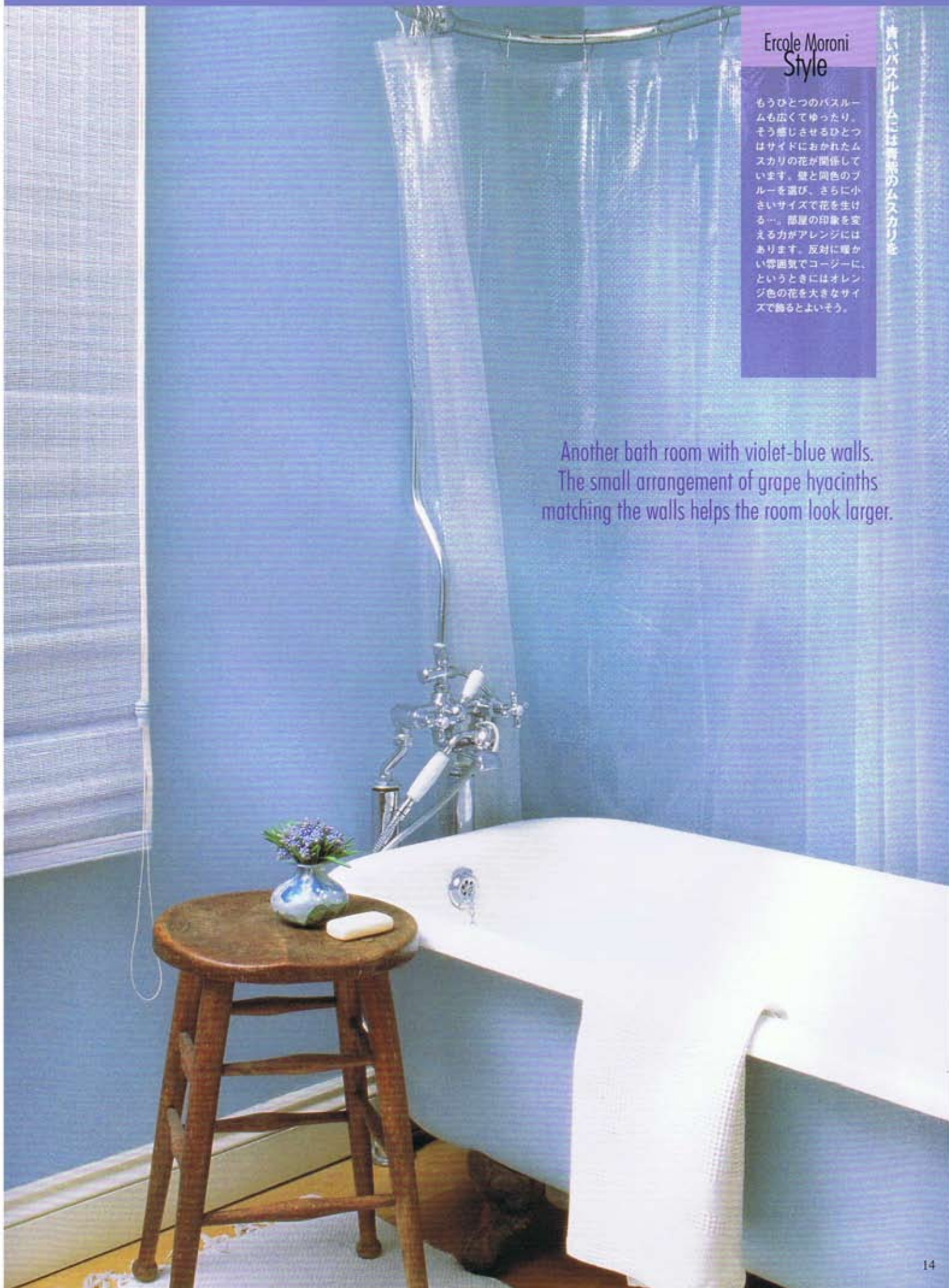
実はバスルームがエルコレさんにとって最も大事な部屋だといえます。ここで新しいクリエイションを創造し、問題あるときにはその対処法を練り、真にリラックスする場所なのです。そのためにあいてあるのがヴィクトリアスタイルのアンティークソファ（左下）。そして部屋の色は色彩的にリラックスできるグリーンで統一。左上「空間的な花」と称するネコヤナギと純白のカラー。カラーは思い出の花であり、田舎の家の庭にいつも咲いていたそう。右上と右下/トイレの香水はフレッシュなヒヤシンス。さらにその上に飾った額にも「ほら、ヒヤシンスの写真だよ」と指をさすユニークなエルコレさん。

## Ercole Moroni Style

もうひとつのバスルームも広くてゆったり、そう感じさせるひとつはサイドにおかれたムスカリの花が関係しています。壁と同色のブルーを選び、さらに小さいサイズで花を生ける…。部屋の印象を変える力がアレンジにはあります。反対に暖かい雰囲気でコージーに、というときにはオレンジ色の花を大きなサイズで飾るとよいそう。

青いバスルームには青い花のムスカリを

Another bath room with violet-blue walls.  
The small arrangement of grape hyacinths  
matching the walls helps the room look larger.





計算されつくした美がそこにあります。

### Ercole Moroni Style

ムスカリの花色は紫のブルーに合わせ、葉も同色でコーディネート。葉の模様と小さな花の形がリフレインされ、緻密に計算された完璧な美が存在しています。青い色には人の心を落ち着かせてクールダウンする効果があるそう。色彩学に精通したエルコレさんはスクールでフラワーデザインにおける色の効果も教まっています。

For Ercole Moroni, flowers are part of him,  
Flowers should always be around him.



### Ercole Moroni Style

彼のどの部屋とも違う  
雰囲気をもたらしたライ  
ブラリー（書斎）。窓  
をのぞくすべての壁は  
本棚。フロアから天  
井までぎっしりと本が  
収納されています。い  
つもあふれんばかりに  
エネルギッシュなエル  
コレとふも、家ではホ  
ヤホヤとリラックスし  
た雰囲気。お気に入りの  
写真コレクションと  
いっしょに。

書斎には大好きな本と写真

